

| | | | | | |
|----------------------------------|---------------|------|-------------|------|--|
| 特講・福祉心理学11 (受容と排斥の心理学) | | 単位数 | 履修方法 | 配当年次 | |
| | | 1 | S | 1年以上 | |
| 科目コード | FT2611 | 担当教員 | 浦 光博 | | |

※この科目は、オンデマンド・スクーリングの方法（履修登録期限：5/31）で受講が可能です。オンデマンド・スクーリング受講希望者は5/31までに「TFUオンデマンド」上での申込みも必要です。

■スクーリングで学んでほしいこと

人間の行動は単に個人的な要因のみによって説明できるわけではない。個人を取り囲む他者、集団・組織、社会、文化といったさまざまな環境的要因が単独で、また相互に折り重なり合いながら個人の行動に影響を及ぼしている。それら多様な要因の間の関連を的確に分析することで人間行動のより良い理解が可能となる。

本講義では、このような人と環境との重層的な相互影響過程を的確に理解するための理論的枠組みを紹介する。また、実証的な研究のための方法論の解説も行う。これらの目的のための具体的なテーマとして「受容と排斥」を取り上げる。

- (1) 対人関係や集団・組織、社会からの受容と排斥が個人に及ぼす影響を及ぼすのか、
- (2) 対人関係の希薄化が人と社会にどのように影響するのか、
- (3) それらの影響の具体的なメカニズムとはどのようなものなのか、
- (4) 受容や排斥を生み出す個人的ならびに環境的条件としてどのようなものが考えられるのか、

といったテーマについての研究を紹介し、人と社会のより良い関係とはどのようなものかについて考察する。

■到達目標

- 1) 対人関係や集団・組織、社会からの受容と排斥が個人に及ぼす影響が説明できる。
- 2) 1) の影響についての具体的なメカニズムが説明できる。
- 3) 1) と 2) の理解を踏まえて、社会的排斥の悪影響を緩和するための具体的な方策が提言できる。

■スクーリング講義内容

| 回数 | テーマ | 内容 |
|----|----------------------|---------------------------|
| 1 | 孤立と排斥のリスク | 孤立と排斥が人と社会にどのような悪影響を及ぼすのか |
| 2 | 孤立と排斥はなぜ人と社会を劣化させるのか | 孤立や排斥が人と社会を劣化させるメカニズム |
| 3 | 社会的排斥と心の痛み | 排斥が人の心の痛みを引き起こすのはなぜか |
| 4 | サポートが人を救う | 排斥された人びとの心の痛みを緩和する対人関係とは |
| 5 | 親密さとサポートの逆効果 | 親密であることがかえって人を傷つける可能性 |
| 6 | 貧しさと格差と対人関係 | 社会経済的な構造が排斥と受容に及ぼす影響 |

| 回数 | テーマ | 内容 |
|----|--------------|------------------------------------|
| 7 | 自ら孤立してしまう人たち | 他者からの排斥を呼び込んでしまうパーソナリティとは 全体の総括 |
| 8 | まとめ | |
| 9 | スクーリング試験 | |

■講義の進め方

教科書、およびパワーポイント（資料として配付）をもとに講義を進めます。

■スクーリング評価の基準

スクーリング試験100%（論述式。持込すべて可）

■スクーリング時の教科書

浦 光博著『排斥と受容の行動科学』サイエンス社、2009年

■スクーリング事前学習

講義の前に教科書の1章は読んできてください。また、講義の進行にあわせて、教科書の関連章を読んだから受講することをお奨めします。

■スクーリング事後学習

講義内容・教科書の復習とともに、排斥と受容について、実際の生活のなかで授業で学んだことがどのようにいかされるか考えてみてください。

■講師紹介

浦 光博 追手門学院大学教授